



みずき野地区まちづくり協議会について

 みずき野町内会
 会長 山下 勝博

1. まちづくり協議会設立の趣旨—(守谷市からの説明)

守谷市においても十数年後に人口減少が始まることが推計されています。人口減少は、市民生活・地域経済・行政運営へ様々な影響を及ぼします。これに伴い、将来にわたり活力ある地域社会を維持していくためには、「行政主導のまちづくり」ではなく、「地域主導・市民主導のまちづくり」に行政運営を転換していく必要があると考え、各地区に「まちづくり協議会」の設立依頼を行いました。守谷市には158の地区自治会が存在しており、市はこれを6地区に集約する提案です。平成24年3月に策定された「地域福祉活動計画実行委員会」が発展・拡大して「まちづくり協議会」が設立され、設立後は「まちづくり協議会」が「地域福祉計画」及び「地域福祉活動計画」に基づき、地域福祉活動を実践することになります。

前記の「地域主導・市民主導のまちづくり」とは

①地域の課題解決

市民や各団体等、協働のまちづくりの担い手が単独で活動するのではなく地域全体の意見を出し合い、行政も含め連携・協力・相合補完・協働することで要望・課題に的確に対応する地域創りをします。

②地域づくりの継続

将来にわたって活力ある地域社会を持続していくため、自分達が住む地域が「将来どのような状況になっていくか」「どのような状況にしたいのか」地域一丸となり考え、共通認識を持つ地域創りをします。

③地域づくりを担う人材育成

市民や各種団体、協働まちづくりの担い手がつながり、地域全体で新たな協働のまちづくり担い手を育成できる地域創りをします。

2. みずき野地区まちづくり協議会設立経緯と活動目的、効果

・設立までの経緯

8月23日—町内回覧にて「みずき野地区まちづくり協議会」の概要説明

8月24日—住民説明会を集会所で開催

8月28日—第一回代議員会を開催、設立の賛同を得る。

8月29日—みずき野地区まちづくり協議会設立承認となる。

・活動の目的及び効果

①支え合い・助け合い事業

NPO 法人明日のみずき野を考える会、ちょいサポ、社会福祉協議会みずき野支部及びみずき野町内会等が、それぞれの活動を通じて支え合い・助け合い安心安全に住み続けるまちづくりを目指す。また、各団体・組織が一体となり新たな展開や広がり活動を実施する。

②地域交流・健康づくり事業

みずき野地区において、各団体・組織の様々な活動を通じて多世代交流や健康づくりに努める。

③地域敬老行事

みずき野地区の高齢者を敬い、長寿を祝うと共に住民同士・多世代の交流を深める行事を開催。

④防犯・防災事業

防犯パトロールや防災訓練を行うことで安心安全に住み続ける街づくりの構築。

⑤生涯学習・子育て支援事業

子供育成会・郷州小学校・学生プロジェクト・みずき野町内会等がそれぞれの活動を通じて生涯学習・子育て支援を行うことで安心に住み続けるまちづくりを目指す。また、各団体・組織が連携し一体となり活動することで、生涯学習子育て支援の新たな展開や広がり構築していく。

⑥協議会運営事業

協議会を運営するとともに、新たに入会する組織・団体の支援を行う。

3. みずき野地区まちづくり協議会の運営状況

①入会届団体・組織名—入会届済団体数 15 団体(2019/10 月末現在)

○みずき野町内会 ○NPO 法人明日のみずき野を考える会 ○ちょいサポ ○地域敬老行事实行委員会 ○子供育成会 ○郷州小学校 ○自主防災隊 ○社会福祉協議会みずき野支部 ○学生プロジェクト ○防犯連絡員みずき野支部 ○ティーふれ ○談話室花みずき ○夏祭り実行委員会 ○郷州里山の会 ○みずき会

②代議員会の開催状況

○第 1 回代議員会開催—8 月 28 日 ○第 2 回代議員会開催—10 月 5 日

③みずき野地区まちづくり協議会の今年度支援予算合計—2,004,000 円

各団体からの活動予算申請分は代議委員会の承認を得て配布済。規定に基づいた支出を各団体で実施し、みずき野事務局で取り纏めのうえ市役所担当部へ決算報告を実施する。

4. 今後の期待

まちづくり協議会設立により各団体・組織との連携を強化して行くことで支援活動の広がり、地域の要望や課題についての改善策等を期待する。

2019 年 9 月 23 日(月)

第三回みずき野敬老のつどい

郷州小学校体育館

「敬老のつどい」は、令和時代初の行事となりました。一時は台風襲来でどうなるのか心配で有りましたが、その影響も少なく又急患の発生も無く、皆様のご支援のもと無事終了致しました事にスタッフ一同安堵致しました。参加申込者・各団体の支援者及び町内会班長のスタッフを含めて総勢 430 名弱の催しで有りました。これからも気楽にふれあえる行事として取り組んで参ります。

今回(第 3 回目)のテーマは「高齢者と異世代と融和・交流を深める事」を主題とし取り組みました。結果出演者の中には、子供達の参加が多く見受けられました。又、会場の展示に関して子供達の作品(絵画、習字、絵手紙及び生け花等)を多く取り入れたので、立派な子供達の作品に来場者の関心を集めておりました。イベントの準備・設営は、みずき野地区の多数の支援団体、みずき野町内会の班長さん及びボランティアの方々に支えられ、怪我も無くスムーズに実施された事に感謝しております。反省としてデコラテーブルの運搬時の積み込 及び積み下ろし作業の人員 配備の指示に難が有り、一部の方にご負担をお掛け致しました。又、「暑さ対策」に対しても今回はミストを製作し対応致しましたが、きちんとした何等かの対応が必要と痛感致しました。今後の反省点と致します。次回に向けては、イベントに参加出来ない高齢者をどのようにして会場に来て皆様とふれあう機会を作ってあげるべきか大きな課題かと思われま。皆様のお知恵を拝借出来れば幸いです。今回のイベントに協力して頂きました多くの方々に感謝致します。有難うございました。



オカリナ演奏



ウクレレの響き



和太鼓演奏



ウインドアンサンブル

みずき会主催 第6回 みずき野寄席

10月18日(金)は、今にも雨が降りそうな天候で出足が心配でしたが、会場の郷州公民館には、みずき会会員と非会員を含め104名の参加がありました。みずき野寄席は今年の5月にも開催しており、通算で6回目となります。今回の演者は、みずき野ではすっかりお馴染みの桂伸三さんです。開演に先立ち、伸三さんから来年5月に真打に昇進することが報告され大きな拍手が起きました。併せて、真打昇進落語会のチケットと記念手ぬぐいの販売の案内もあり、多くの方が購入していました。最初の演目は「八問答」、そして「七段目」。休憩後には、「おてもやんの踊り」も披露され、いつもながらの芸達者振りで観客を魅了していました。演目最後の古典落語の人情噺・文七元結では「涙が出た」と言っている人もいました。



真打となってもみずき野寄席に出演して欲しいものです。

(みずき会会長 佐久間 康郎)




育成会第2回こども映画会

10月26日(土)

今年で2回目となる子供映画会は、前日に台風21号の影響で大雨が降り、会場の中央公園広場は浸水状態となりました。上映ができるかどうか大変心配でしたが、当日になると嘘のように水がひいて、暑くもなく寒くもない天候で役員の方は胸をなでおろしていました。



夕方4時頃から親子づれが徐々に集まりはじめ、上映時間までの間に役員の方やボランティアの方が準備したカレー、ポップコーン、綿菓子をいただきました。上映開始時間の5時半には約100名の参加者で、ディズニー映画『マイクロキッズ』を鑑賞しました。

皆さん大変喜んでいましたので来年も是非映画会を開催してほしいと、ものずき会にお願いしました。

(育成会会長 石田 祐子)



守谷市シニアスポーツ大会



台風19号が来る前日の10月11日(金)にみずき会から34名、全体では約300名が参加して常総体育館で守谷市シニアスポーツ大会が盛大に開催されました。市長は防災服姿で挨拶されましたが、幸い小雨程度で大会には支障はありませんでした。午前中は個人競技で競技の中には園児と一緒に探したり走ったりしました。

午前の競技の終了後には、園児による元気一杯のよさこい踊りを披露して貰い、大いに元気を貰いました。昼食は美味しい鮭弁当をいただき、午後には輪投げと玉入れの団体競技が行われました。それぞれ自分の所属クラブのチームを応援して、大いに盛り上がりました。翌日の台風に備えるために繰り上げて競技が行われ、14時過ぎに閉会となり誰一人怪我なくみずき野へ戻って来ました。

(みずき会会長 佐久間 康郎)



HALLOWEEN



みずき野幼稚園のハロウィン・パーティーが
10月24日(木)に開催されました。
色々なキャラクターに扮したかわいい衣装の
園児たちは午前10時半ころから
園庭を出て町内を練り歩きました。





みずき野リンリン スポーツフェスタ



10月20日(日)

参加人員

心配された天気予測に気をもみながらも、当日は天気に恵まれソフトボールも実施できました。ソフトボールは36名の参加。3チームでリーグ戦を行いました。シェアハウスの学生の参加のほかに5歳の子供や女性の参加もありにぎやかでした。小学校体育館で行われた体力測定には17名が参加。年齢以上の頑張りで、記録更新する人もありました。卓球には20名が参加。若い時のピンポン自慢で空振り続出。一方で中学生の見事なプレーに拍手がわきました。ペタンクには14名が参加。幼稚園児から高齢者まで手軽にプレーし楽しんでいました。バドミントンには9名が参加。シャトルが思いのほか飛ばないことを体験する人も多く、苦労の連続でした。輪投げには14名が参加。4歳先の的中中々届かないなど意外と難しい競技でしたが、低年齢の小さい子供も距離を短くして楽しんでいました。懇親会には約50名が参加。シェアハウスの学生も参加して話が盛り上がりました。

参加者の感想

年齢、男女の区別なく手軽にできる卓球などの室内競技種目が良かったとする意見を多くいただきました。

次回への反省

天候に左右されることなく順延なしでプレーできる室内競技種目をさらに充実させていきたいと考えています。

みずき野朝市との連携

ふるさとみずき野朝市と同日開催し、各種目に特別賞(朝市のランチ券)配布したことで喜ばれました。

アピール

自分の健康は、普段から意識して運動に心がけることが大切です。一人ではなく仲間と楽しく行うことも継続のために大事なことなので、さらにこのスポーツフェスタを充実させていきたいと思えます。なお、大会で使用した、卓球セット・バドミントンセットをみずき野集会所に備え付けましたのでご利用ください。



(みずき野リンリンスポーツフェスタ実行委員長 早稲田 隆信)



ふるさとみずき野朝市



10月20日(日)



編集後記

トップにこのほど発足した「まちづくり協議会」の仕組みと運営状況について町内会会長に寄稿いただきました。このほか3世代が一緒になって元気に各種行事に楽しむ様子をご紹介します。例年、秋のこの時期は町内の行事が多い時期ですが、紙幅に限りのある「みずき野町内会だより」に全てを掲載することはできません。

みずき野町内会ホームページにも町内の様々な活動の様子を広くご紹介していますので合わせてご覧いただければ幸いです。

(広報委員会 都 俊生)